

## プロンプト 1:「個人旅行」と「パック旅行」のサンプル

サンプルは、以下のプロンプト 1 「個人旅行」と「パック旅行」について書かれたものです。

こじんりょこう りょこう  
「個人旅行」と「パック旅行」

いか さくぶん おうぼ  
あなたは以下の作文コンテストのポスターを見ました。そして、この作文コンテストに応募することにしました。

こじんりょこう りょこう  
「個人旅行」と「パック旅行」

し あ くに しゅうかん こじん じゅんび りょこうがいしゃ  
知り合いのいない国を1週間旅行するとしたら、個人で準備する「個人旅行」と、旅行会社が準備してくれる「パック旅行」と、どちらで行きますか。

めん あ ひかく いけん  
それぞれのプラス面とマイナス面を挙げて比較し、旅行についてのあなたの意見を600字～800字で書いてください。

にゅうしょう かた おうふくこうくうけん ゆうこう  
入賞された方には、日本への往復航空券（1カ月有効）をプレゼントいたします。

日本さくら旅行

## プロンプト 1:「個人旅行」と「パック旅行」

### 日本語 1 のサンプル

個人旅行はたのしいですよ。こちらはびじゅつかんや映画かんに行きますからこの個人旅行が一人います。でも、こちらはとてもさびしいですね。だから、個人旅行はいちばん高いですから個人旅行が一人います。パック旅行はいつもやすいですからたくさん人々がいます。でも、パック旅行は時々たのしいですからたくさん人々があります。それから、たぶん新しい友だちがいます。個人旅行とパック旅行はいつもつまらないですよ。新しい所に行きましょうね。でも時々、人々はいつもおなじ所にいきます。

個人旅行はたくさん所にいきますから個人旅行は時間があります。でも、個人旅行はちょっとです。たくさんおもしろい町に行きませんから個人旅行は少しお金が持ちます。そして、個人旅行はたぶん二と三所に行きます。でも、パック旅行はたぶん四と六所に行きます。だから、パック旅行はたくさん人々がいますからこの旅行がとてもお金があります。

パック旅行がたくさん面白くて、たなしい所に行きます。でも、少し時間がありますからたくさん人々と所に行きます。それから、私はパック旅行が一ばん旅行だと思います。だから、パック旅行はやすく、とてもたのしいです。個人旅行は高くつまらないですよ。

#### 【解説】

言語使用に大きな問題（接続助詞「から」のつなぎ方、「たなしい」など）があり、外国人の日本語に慣れていない日本人が推測を働かせても、書いてあることを読み取り、全体を理解することは難しい。以上より、「1」となる。

プロンプト 1:「個人旅行」と「パック旅行」

日本語 2 のサンプル

該当サンプルなし

## プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

### 日本語3のサンプル

外国へ旅行したら日本へ行きたいんです。自由な旅行をしたいんですから自分で旅行へ行きます。一人で行きますから私の一番好き所を見せます。私の好きな物をすれば、一人で行きますと思います。それも私は一人で旅行するがほしいんです。自分で旅行するは良いですが、少し楽しくないです。それから、グループで旅行するはもっと面白いかもしれません。旅行会社好きじゃないんですからいつもインターネットでと自分で旅行をつくります。旅行会社はとても高くて、無用ですね。今日の世界は自分で旅行を作るは本当に簡単で。

然し一人で旅行するは危ないかもしれません。旅行へ行くの国の語を話す出来ませんの時色々な物は話まらないを成るかも知れません。危ない炉ころへいくの時、いつもグループで旅行するほうがいいですよ。分からない語の所へ行くときもグループも行くほうがいいですね。

要するに私は自分で旅行をほしいですがグループで旅行するも面白いです。

#### 【解説】

推測を働かせなくても、おおよそ書いてあることは読み取れるが、言語使用に誤りが多く、正確さはかなり低い。また、中盤から終盤にかけて終助詞「ね」「よ」が散見され、レジスターに違和感がある。以上より、「3」となる。

\*なお、このサンプルではパラグラフ間が1行空けられているが、特に空ける必要はない。

## プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

### 日本語4のサンプル

「個人旅行」と「パック旅行」

「個人旅行」というのは自分で旅行を準備することだ。一方で、「パック旅行」というのは旅行会社が旅行の予定を決めた。二つのほうはいい面も悪い面を持っている。例えば、一週間で友達がいないところへ行く時、どんな旅行をしたいについて考えないといけない。

まずは「個人旅行」のような旅行をする時、自分が「いつ、どこ、何で」というような質問が自分が決められる。このような旅行は自由に準備できる。旅行会社に準備された旅行にはある所あまり行きたくせに払ったから行くことにするが、「個人旅行」には自分の好きな所だけへ行けるし、好きな活動だけでも参加できる。準備された美術館に気に入らない人にとって完璧だ。一方で、旅行の所について何も知らないか誰にも知らないなら、「個人旅行」は確かに困難になれる。それに言語が違ったら、ホテルや飛行機の予約というような簡単なことは無理そう。自分が準備された旅行に行く時予定を守るために緊張することもある。しかし、緊張のあまり旅行を楽しめるのだろうか？

このような人々にとってはたぶん「パック旅行」のほうが適切だ。そのような旅行には、荷物以外、何の準備もない。時間がない人にもとても便利だ。旅行会社は行くから帰るまでのことを全部準備してあげるので一週間の旅行しか楽しむことができない。そして、見ないといけない場所や食べないといけないレストランも勧めてあげる。自分が選んだレストランなどで失望することはない。

「個人旅行」と「パック旅行」とどちらのほうがいいというのは人々やどんな旅行をしたいことによる。二つのほうが長所も短所もあるからです。最初の旅行はもっと自由で、自分が作った旅行であるが、「パック旅行」のほうがストレスが低いかもしれません。

#### 【解説】

言語使用はある程度正確であるが、誤りも見られる。レジスターに大きな問題はないものの、前半は普通体で書かれているが、文章の終盤で丁寧体が現れ、多少の違和感はある。また、使用されている表現は限定的で、こなれておらず、多様性も見られない。以上より、「4」となる。

## プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

### 日本語5のサンプル

「個人旅行」にも「パック旅行」にもプラスやマイナス面はあると思うが、知り合いのいない国を旅行することになった場合、「パック旅行」の方がいいと思われる。なぜなら、知り合いのいない国を訪れる場合、旅行者がある程度不安を感じるからだ。旅行先がどんなところであるか、何かの問題か困ることがあった場合どうすれば良いか、色々な心配をする。しかし、旅行会が手配する「パック旅行」を選べば、全ての責任が個人にある旅行より安心のはずだ。何かの問題があったとしても、旅行会社に連絡すれば助けてくれるでしょう。

その一方、「個人旅行」の場合、行く前の準備や手配、着いたときから帰るまで、全てを自分で、ゼロからやらなければならない。器用で慣れている方であれば問題ないかもしれないが、初めての方、旅行にそこまで慣れていない方であれば、「パック旅行」の方がいいでしょう。

また、「パック旅行」の企画が専門家によって作られるので、面白みのある、旅行者が満足できるような内容のパックが提供されると思われる。それに、個人による企画に含まれていない、自分で思い付かなかった内容まで入っているかもしれない。

「パック旅行」の企画がフィックスされていることが旅行者の好みによってプラス面、それともマイナス面であるかもしれない。自由な「個人旅行」にもそれなりのプラス面はあるのであろうが、自分で旅行の企画をしたくない、慣れていない旅行者に安心感や満足を与えられる「パック旅行」の方が勧められる。

#### 【解説】

言語使用にはほとんど誤りが見られず、かなり正確で、また多様性も十分にある。しかし、レジスターは全体が普通体で統一されているにも関わらず、2箇所「でしょう」が見られ、敬称の「方」が使用されるなど、やや違和感がある。以上より、「5」となる。

## プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

### 日本語6のサンプル

21世紀に生きている私達には、前の世代の想像も及ばない可能性がある。その一つはお金さえあれば、自由に世界のあちらこちらを訪ねる機会だ。観光客の飛躍的な増加に伴い、現在の観光事業も素晴らしい発展のレベルを達成している。そして観光客の需要の似合うのに、旅行の形も多様化してきた。その中でも「パック旅行」と「個人旅行」という最も人気のある形態が2つある。もちろん、この2つの主な形態にそれぞれのそれなりのメリットとデメリットがある。

私はまず、それぞれの形態のメリットに触れたいと思う。パック旅行というのは、ビザ発給から旅行日程の作成までに何もかも旅行会社に任せることができる非常に便利な旅行の携帯だ。パック旅行を選ぶ人は旅行費だけ払えば、1、2週間なにも気にせず楽しく観光しながら寛ぐことができる。この旅行の形態は普段なら多忙な人にとってもっとも相応しいと思う。また、パック旅行は原則として主な観光地と代表的なところの観光を含んでいるため、旅行の準備が更に簡単になる。それに対して、個人旅行はビザ発給作業、航空券の購入、ホテルの予約など自分でやらなければならない形態だ。この形態はマイペースで興味のある所だけ時間の制限なくて見たい人、また集団観光が苦手な人は個人旅行を選んだ方がいいと思う。

デメリットについて言えば、まず、パック旅行のもっとも重大な欠点は自由があまりないということだ。観光グループと共に様々なところまで辿り、表面的な観光しか出来ない。すなわち、もっとも有名で観光客で溢れているところしか見えない。この様な雰囲気である場所の雰囲気が本格的に味わえる人がいるだろうか。だが、個人旅行を選ぶ人はそれと逆に重要な観光地を飛ばしてしまう可能性がある。また、このような旅行の準備が大変疲れるし、他の国の交通機関の使い方など困るところもありそうだ。このように、上述した利点と欠点からみれば、自由に移動できない場面が苦手私にとって個人旅行の方が相応しいと思う。苦勞して細かい計画を立てる必要があっても、それができたら満足感を与える充実した観光が出来ると思う。

#### 【解説】

言語使用は、誤字や変換ミスがやや見られるものの、日本語母語話者にも見られる程度のもので、正確さに問題はない。また表現や構文についても、十分に多様なものが使われている。レジスターに違和感を持つ箇所もない。以上より、「6」となる。